Nintendo DREAM
ニンドリ
2月号別冊付録

THE HISTORY OF ZELDA アートコレクション

『ゼルダの伝説』から
『大地の汽笛』まで
すべてのシリーズのイラストが
この一冊に集う…

CONTENTS もくじ

INDEX さくいん

※価格は発売当時のものです。2004年4月以降のタイトルは、価格のあとに(込)を付けた消費税込みのものになります。

THE HYRULE FANTASY

ゼルダの伝説®

リンクの戦いを描くシリーズ第1弾。ガノンに捕らわれたゼルダ姫を救出するためにハイラルを冒険する。各ダンジョンの奥に分散された知恵のトライフォースを集め、デスマウンテンで待つガノンに戦いを挑むのだ。のちにカセット版も発売。GBAやバーチャルコンソールでも楽しめる。



ゼルダの伝説/ゼルダの伝説1/ファミコンミニ05 ゼルダの伝説1
発売日◎1986年2月21日発売/1994年2月19日発売/2004年2月14日発売
価格◎2600円(書き換えは500円)/4900円/2000円
ハード◎ディスクシステム/ファミリーコンピュータ/ゲームボーイアドバンス
■バーチャルコンソール版は2006年12月2日配信。500Wiiポイント



←広大なハイラルを冒険する。ガノン討伐後は、ダンジョンの位置などが変更された2周目「裏ゼルダ」もプレイできた

THE LEGEND OF ZELDA 2

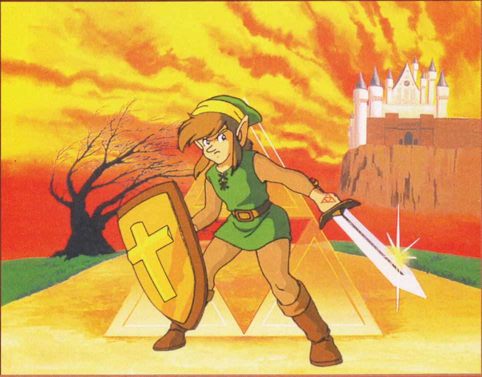
リンクの冒険®

リンクの冒険/ファミコンミニ25
ディスクシステムセレクション リンクの冒険

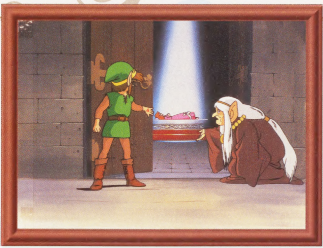
発売日⊙1987年1月14日発売/2004年8月10日発売
価格⊙2600円(書き換えは500円)/2000円(込)
ハード⊙ディスクシステム/ゲームボーイアドバンス
■バーチャルコンソール版は2007年1月23日配信。500Wiiポイント

勇気のトライフォースを入手して、初代ゼルダ姫を魔法の眠りから解き放とう。戦闘時の視点が前作の見下ろし型ではなく横スクロール型に変化。盾による防御を立ち状態としゃがみ状態で使い分ける必要があるなど、アクション性がアップしている。GBAとバーチャルコンソールでもプレイできる。





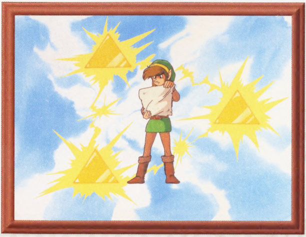
⬆ガノンを倒してもハイラルの荒廃は止まらなかった。数年後、16歳となったリンクの左手にトライフォースの紋章が浮かび、再び冒険が始まる



⬅ゼルダ姫の乳母インパに連れられて、開かずの扉に向かうリンク。左手の紋章は、リンクを初代ゼルダ姫のもとに導く



➡リンクは、インパから勇気のトライフォースを手に入れるためのカギを握る、巻物と6つのクリスタルを手渡される



⬅リンクが集めた「知恵」とガノンから取り戻した「力」。死の谷にある「勇気」をそろえてハイラルに平和をもたらせ

SUPER Famicom

ゼルダの伝説 神々のトライフォース

ゼルダの伝説 神々のトライフォース

発売日◎1991年11月21日発売
価格◎7700円
ハード◎スーパーファミコン
■バーチャルコンソール版は2006年12月2日配信。900Wiiポイント

アグニムの魔の手からゼルダ姫を救うために、リンクは光の世界と闇の世界を行き来しながら戦い続ける。視点が見下ろし型に戻り、初代『ゼルダの伝説』に近いゲーム性になっている。高低差がある場所が多くなり、ダンジョンはより複雑になった印象がある。バーチャルコンソールでもプレイ可能。



リンク



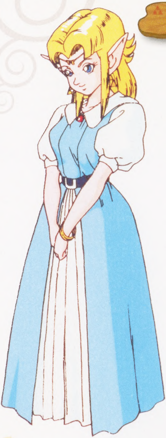


←↑↓イラストから受ける印象は『リンクの冒険』に近いが、ゲーム中のアクションは、画面構成が同じ初代『ゼルダの伝説』に近い

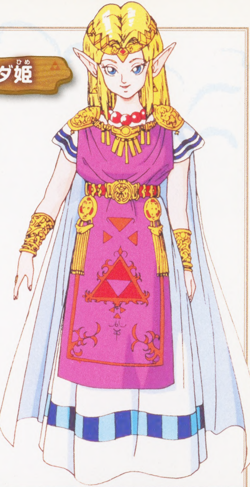


←↑→仕掛けによっては引っ張ることも可能になった。「ペガサスの靴」を履くことで、走って体当たりすることもできるぞ

ゼルダ姫

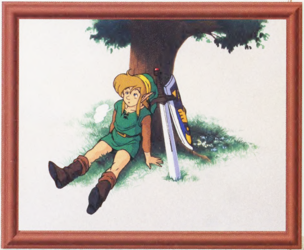


⇄右が正装のゼルダ姫。アグニムの計略によって地下牢に閉じ込められているときは、左の私服姿でリンクの助けを待つ





妖精



ゼルダの伝説 夢をみる島DX

ガノンを倒し、修行の旅に出たリンクは、航海中に嵐に遭遇してコホリント島に流れ着く。ハイラルに帰るため、島に点在するセイレーン楽器を集めて巨大な卵を孵すのが冒険の目的で、ゼルダ姫やトライフォースは関係ない外伝的な内容になっている。GBC用に配色を調整した『～DX』も発売された。



ゼルダの伝説 夢をみる島/ゼルダの伝説 夢をみる島DX

発売日⦿1993年6月6日発売/1998年12月12日発売
価格⦿3800円/3500円
ハード⦿ゲームボーイ/ゲームボーイカラー



➡『～神々のトライフォース』の後日談らしく、リンクの見た目はSFC版とほぼ同じ。盾の模様などからも同一人物であることが推測できる。漂流で荷物を失うが、剣と盾は島に流れ着く

マリン



←海岸に打ち上げられていたリンクを介抱してくれた少女マリン。キノコ好きの中年タリンと同居している







フクロウ

タリン











➡リンクのアクションもSFC版に近い。『〜DX』では、カラー化に合わせた追加ダンジョンもあるぞ

THE LEGEND OF ZELDA
ゼルダの伝説 時のオカリナ

ゼルダの伝説 時のオカリナ
発売日◎1998年11月21日発売
価格◎6800円
ハード◎ニンテンドウ64
■バーチャルコンソール版は2007年2月17日配信。1200Wiiポイント

コキリ族の少年リンクが、ハイラルを支配する野望を実現するためにトライフォースを狙うガノンドロフに立ち向かう。これまでのシリーズと大きく変わり、ポリゴンで構築された広大なフィールドを、リンクを背後から追いかける視点で操作して冒険する。バーチャルコンソールで配信もされている。





リンク
（大人）



⬅⬆本来の姿の「こどもリンク」から、7年後の姿である「おとなリンク」になって冒険が繰り広げられる。子供姿に戻るシーンもあるぞ







←リンクは、コキリの森では妖精を持っていないことで半人前扱いを受けていた。守護神デクの樹に遣わされた妖精ナビィと出会い、ハイラルを守る勇者の冒険が始まる









⬇キャラクターが立体的になり、アクションがより多彩になった。縦と横の2つの軌跡で剣を振ったり、横っとびやバック宙といった動作も





⬆⬇回転斬りや物を押すなど、継承されているアクションも多い。乗り越えたりもできるので、先入観は禁物かも?







⬅⬇ジャンプ斬りなど、高さの概念が重要になっている。愛馬エポナにまたがることも可能になるぞ

リンク(子供)





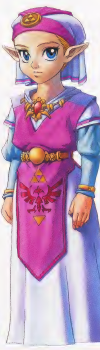


⬆⬇➡マスターソードを突き立てることで、7年の時間を飛び越えるリンク。引き抜けば7年前に戻ることも可能だ



ゼルダ姫





←→ゼルダ姫とは、子供時代と大人時代の両方で会うことができる。シークは冒険の重要人物で、その正体は…

シーク









ガノンドロフ

ガノン



⇐⇒トライフォースをめぐる戦いを繰り広げることになるガノンドロフ。最終決戦ではガノンの姿に変身

ラウル





インパ

タロン



マロン



インゴー



ナボール





サリア



コキリ族





ミド

⬅⬆➡コキリ族は、外見的に年齢をとらない種族。リンクの7年後の姿はサリアたち幼なじみに違和感を与える



ダルニア

⬇➡デスマウンテンに住む岩のような姿の種族で、ダルニアが族長を務める。個体差とは思えないほど大きな体の者もいる



ゴロン族



ケポラ・ゲボラ



キングゾーラ

➡⬇キングゾーラは、ゾーラ川の上流に住むゾーラ族の族長で、ルトは彼の娘。7年後のルトは、姫としての責任感を抱く大人に成長





ルト



スタルキッド







ツインローバ

⬅⬆ツインローバは、ガノンドロフの養母コウメとコタケの戦闘時の姿で、合体も可能



ゴーマ



ボンゴボンゴ



バリネード



ファントムガノン



ヴァルバジア



キングドドンゴ

モンスターたち






















HYRULE
WORLD
ATLAS

THE LEGEND OF ZELDA®
ゼルダの伝説
ムジュラの仮面

ゼルダの伝説 ムジュラの仮面

発売日◎2000年4月27日発売
価格◎5800円／メモリー拡張パック付き 7800円
ハード◎ニンテンドー64
■バーチャルコンソール版は2009年4月7日配信。1200Wiiポイント

『時のオカリナ』から数か月後、リンクは3日後には月が落下して滅亡する異次元世界タルミナへ紛れ込んでしまった。リンクは、この限られた3日間を何度も行き来して滅亡を食い止めるため、かぶると姿を変えたり、特殊な能力を使える「お面」を駆使して、世界に散らばる謎を解く。



リンク

➡チャットは、もともとスタルキッドの仲間の妖精だが、リンクと行動をともにするようになった





⬅装備品はコキリの剣と勇者の盾。ゲームを進めると、左のイラストのフェザーソードなども入手する



⬅⬇鬼神の仮面をかぶったリンク。身長が伸びて大人の姿となるので、ボスとの決戦などでは必須のアイテムだ。また、本作では前作と違って、子供の姿のままでも馬のエポナに乗れるようになったのがうれしい









⬆➡「お面」をかぶってリンクの姿が変化するのは、"仮面"の名前がついたゴロン、デクナッツ、ゾーラ、そして鬼神の仮面だけだ



スタルキッド



カーフェイ



⬅⬇ある意味、ダンジョンよりも手強いクロックタウンの住人たち。リンクの取った行動で、彼らの最後の3日間に変化が起こる





⬇ゾーラ族の勇者の血を引くギターのミカウの顔が、ゾーラの仮面になった



ツインモンド



イカーナ王



ムジュラの仮面

←すべての元凶となったムジュラの仮面。リンクの最終決戦の相手になる



オドクル



ゴート



グヨーグ





ゼルダの伝説 ふしぎの木の実 大地の章
ゼルダの伝説 ふしぎの木の実 時空の章

発売日◎2001年2月27日発売
価格◎各3800円
ハード◎ゲームボーイカラー

ホロドラムが舞台の「大地の章」とラブレンヌが舞台の「時空の章」は、それぞれ独立した作品でありながら、2つの作品をつなぐ「リンクシステム」によって、さらに冒険が広がる。「大地の章」では四季のロッド、「時空の章」では時のたてごとを駆使し、世界の謎を解き明かす。



リンク

⬇ハイラルにいたリンクは、トライフォースの試練を受けるため、2つの世界に






リッキー
ゼルダ姫
マカの木
森の妖精
ウーラ族



⬆➡ゴロン族や船長、メイプルのように、2つの物語に共通して登場するキャラクターもいる



➡「大地の章」では、ホロドラム地方のメガネ池のほとりに、木の上から下りられなくなってしまったチミミちゃんを心配するおじいさんがいた



ディン



ソクラ



ザーマス夫人



レフト教授



メイプル



ルール町長

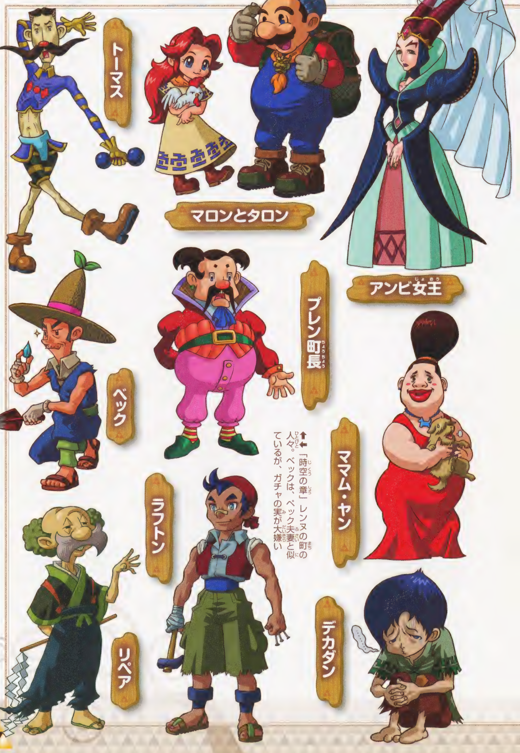


チクタク



➡ネールの幼なじみの少年ラルフ。実はアンビ女王の子孫で、マユゲの形がそっくり

⬅時空をつかさどる「時の巫女」ネールは、闇の司祭ベランの野望のために身体を乗っ取られてしまう



⬆⬅「時空の章」レンヌの町の人々。ベックは、ベック夫妻と似ているが、ガチャの実が大嫌い

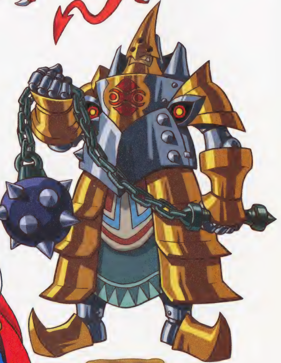

トッキー
シバール
カーノ
スーベルと相方
トロイ
店の主人
手
大工親方と工夫

バイア



ボスブリン





ゴルゴン



←リンクシステムで、2つの世界の謎を解いていくと、シリーズでおなじみのボスキャラ・ガノンが登場するシナリオをプレイできるようになる

ガノン



ツインローバ



ベラン

←→「時空の章」の事件の元凶ベランと、2つの事件を陰から操っていたツインローバ





↑「大地の章」と「時空の章」のメインビジュアルには、それぞれのキーとなるキャラが描かれている

THE LEGEND OF ZELDA

ゼルダの伝説 風のタクト

ゼルダの伝説 風のタクト
発売日◎2002年12月13日発売
価格◎6800円
ハード◎ニンテンドーゲームキューブ

3DCGのトゥーンレンダリングで描かれ、アニメを操っている感覚で楽しめる。さらわれた妹を救うため、風を操ることのできる「風のタクト」を駆使して、大海原の謎を解き明かす。多彩なアクションはもちろん、リンクやほかのキャラクターの表情が謎を解くヒントになっている。



リンク











⬆➡本作でのリンクは、プロロ島に住む12歳の少年。島の風習で緑色の服を着ているときに事件に巻き込まれる



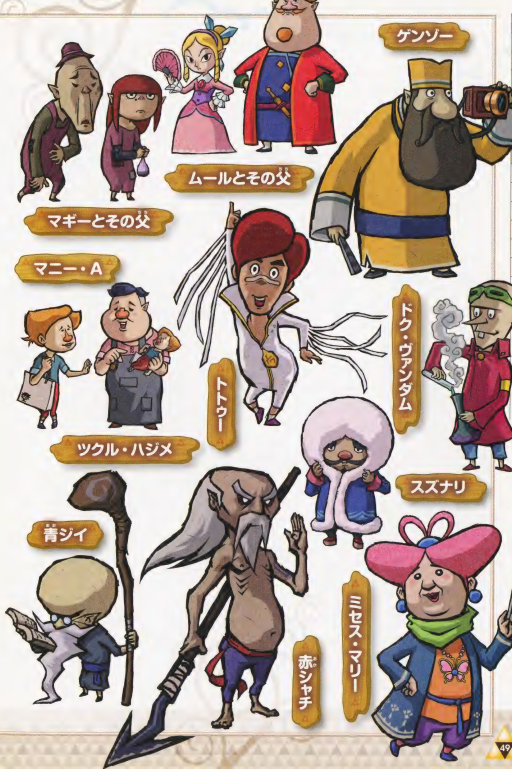
⬅⬇剣を取った姿は、まさに伝説の勇者のようだ。妹のアリルは兄と望遠鏡が大好き



←→リンクの住むプロロ島の住人たち。彼らから冒険に役立つ、いろいろなテクニックを伝授してもらうことになるのだ



←伝説の勇者は、フォドと同じコキリ族の少年だったらしい。そして、このコキリ族が、時を経てコログ族へと姿を変えていったようだ


ゲンゾー
ムールとその父
マギーとその父
マニー・A
トトゥー
ドク・ヴァンダム
ツクル・ハジメ
スズナリ
青ジイ
ミセス・マリー
赤シャチ



デクの樹
さすらいの露天商
ヴァルー
チンクル
ディビットJr
アンクル
ナックル
フーチン
魚男
大妖精
ジャブー
ライチン


スタルフォス
ボコブリン
モリブリン
カーゴロック
リーデッド
チュチュ
ガモース



ウィズローブ



グヨーグ



タートナック



←↑重たい装甲に身を包んだガンドロノフの手下タートナックは、装備やカラーによって、バリエーションも豊富

ファントムガノン





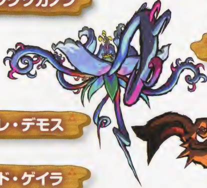
デグアモス



クグツガノン



ジャイ・ハーラ



カーレ・デモス



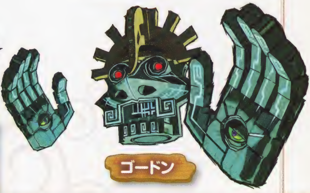
ゴーマ



モルド・ゲイラ



ジークロック



ゴードン





























THE LEGEND OF ZELDA® ゼルダの伝説

神々のトライフォース&4つの剣

ゼルダの伝説 神々のトライフォース&4つの剣
発売日◎2003年3月14日発売
価格◎4800円
ハード◎ゲームボーイアドバンス

SFC版『～神々のトライフォース』とGBAオリジナルの『4つの剣』をカップリング。『4つの剣』は2～4人用で、人数分のソフトを通信ケーブルで接続することで同時プレイが可能。グフーにさらわれたゼルダ姫を救出するため、フォーソードで分身したリンクを操作してルピーを集めるのだ。



神々のトライフォース

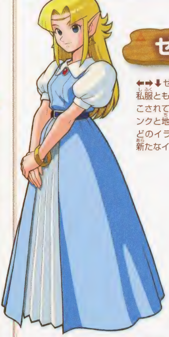


リンク

←SFC版を移植したタイトルだが、イラストは新たに描き起こされている。SFC版よりも瞳が大きく柔和な印象を受ける。同じポーズも多く、比べてみるのも面白いぞ







ゼルダ姫

←→↓ゼルダ姫も正装、私服ともに新たに描き起こされている。また、リンクと地下道を進む姿などのイラストも見られ、新たなイメージが膨らむ





アグニム
















MASTER FORCE

4つの剣

⬇➡同じリンクでも、こちらは『〜風のタクト』のイメージに近い。フォーソードの力で緑服のリンクから赤服、青服、紫服のリンクが分離する





リンク



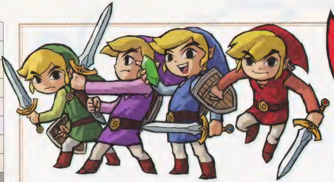


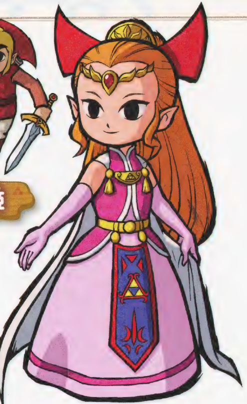




⬆⬇ゼルダ姫を救うには、宝石ルピーがカギを握る。通貨としてシリーズに定着しているルピーだが、奪い合う姿はある意味新鮮。もちろん協力して敵を倒すのも重要だ







ゼルダ姫



⇔グフーに捕らわれるゼルダ姫。2～4人で協力して彼女を救出するのだ。ホニャ妖精は、見た目はアレだがリンクに戦い方をレクチャーする

ホニャ妖精

カゲロウ大妖精



チョウ大妖精



トンボ大妖精





デグチタート

グフー



ヒックン







豪炎

デラゾル



トホホ





ゼルダの伝説 4つの剣+

THE LEGEND OF ZELDA

ゼルダの伝説 4つの剣+
発売日◎2004年3月18日発売
価格◎5800円
ハード◎ニンテンドーゲームキューブ

『神々のトライフォース&4つの剣』の続編「ハイラルアドベンチャー」、2～4人で対戦する「シャドウバトル」、4人まで同時プレイ可能な海賊団の入団試験「ナビトラッカーズ」の3本を収録。ナビトラッカーズは、『風のタクト』の世界で、一人前の海賊団になるためにメダルを集める。





←↑ハイラルアドベンチャーではリンクの分身だが、ナビトラッカーズではテトラの手下が変装している

リンク







チンクル

➡「ハイラルアドベンチャー」と「ナビトラッカーズ」には、チンクルがライバルとして登場。とくに「ナビトラッカーズ」のチンクルは強敵だぞ







テトラ













←↑敵に囲まれた4人のリンクたちを描いたパッケージイラストと、冒険の舞台となるハイラルのマップ。8つの地域にそれぞれ3つのコースが用意されている

THE LEGEND OF ZELDA®

ゼルダの伝説 ふしぎのぼうし

GBA初の、オリジナルストーリー作品。ゼルダ姫にかけられた魔人の呪いを解くため、リンクが聖剣を作る冒険に出る。パートナー・エゼロの魔法で体の大きさを変えながら、現実世界と小さな世界を行き来する。ニテン堂でのフィギュア集め、カケラ合わせなど冒険以外の楽しみも多い。



ゼルダの伝説　ふしぎのぼうし
発売日◎2004年11月4日発売
価格◎4800円(込)
ハード◎ゲームボーイアドバンス



エゼロ

⬇➡一見帽子のようだが、グフーに姿を変えられた元ピッコル。リンクの頼もしいパートナーとして冒険に出る

リンク

⬅⬆主人公。刀鍛冶スミスの孫で、王女ゼルダ姫とは幼なじみ。いまいち頼りないが、エゼロやピッコルの協力を得てゼルダ姫を救うため戦う







⬅⬇剣をバシッと構えたリンクと、りりしい横顔。今作では、各地にいるテッシン流の剣の達人から8つの剣技を教えてもらえるぞ

⬆パッケージにも描かれていたリンクとエゼロの姿。見上げる先にいるのは一体なに？



⬆剣技のひとつ、ダッシュ斬りを繰り出す！「ペガサスのくつ」のダッシュ力を使って敵に突っ込む技なのだ



⬅最初に覚える剣技は、おなじみ回転斬り！　ぐるぐる回り続ける大回転斬りもあった



⬇杖の先から放たれる光で、なんでもひっくり返す「パッチの杖」。謎解きだけでなく、敵への攻撃にも使えた



⬆空気を吸い込んだり吐き出したりできる「魔法のつぼ」



➡地面も壁もどんどん掘れる「モグラグローブ」。掘ると出てくるのはルピーか敵か？

⬇地図を見ながら、次の行き先を相談してるのかな？　迷ったらSELECTボタンで聞けるエゼロのアドバイスが役に立つぞ







⬆➡キリッと構えたリンク。"フォーソード"や"ミラーシールド"といった強力な装備も入手できた

ピッコル





⬅⬆ハイラルに住む、小さな小さな妖精。純粋な子どもにしかその姿は見えない。カケラ合わせのカケラは、じつは幸せを願うピッコルたちが作っているのだ



ゼルダ姫

⬅明るく活発なハイラルの王女。リンクと幼なじみで、ピッコル祭りにもリンクと出かけた。グフーの呪いで、石にされてしまう



グフー

➡元はピッコルで、エゼロの助手として働いていた。エゼロが作った願いを叶える帽子をかぶって変身し、邪悪な力を解き放った



⬆剣と盾をりりしく構えるリンクとエゼロ。背景にも描かれたカケラには合わせると秘密の場所が現れるものも



➡普段はザコ敵のチュチュも、リンクが小さな姿になるとこんな巨大なボス級に！













THE LEGEND OF ZELDA Twilight Princess

ゼルダの伝説　トワイライトプリンセス

ゼルダの伝説　トワイライトプリンセス
発売日◎2006年12月2日発売
価格◎各6800円(込)
ハード◎ニンテンドーゲームキューブ／Wii

Wii本体と同時に発売された、リアル系ゼルダひさしぶりの作品。ストーリーは、『時のオカリナ』のエンディング後の未来の話となる。Wii版より先に開発されていたゲームキューブ版もオンライン限定で販売され、この作品がゲームキューブで発売された最後のゲームとなった。





リンク

➡主人公。トアル村で暮らす青年だが、神に選ばれ、ハイラルを救う勇者となる。ゲームキューブ版は歴代リンクと同様に左利きだが、Wii版ではWiiリモコンを振って遊ぶプレイヤーとより一体感が出るよう右利きになっている



⬅愛馬・エポナにまたがるリンク。広大なハイラルの大地を駆け回るだけでなく、乗馬したまま敵と戦う騎乗戦も見せ場のひとつだった





⬇影の力で獣と化してしまったリンク。この姿の時は、センスを研ぎ澄ますことで、見えないものが見えたり、動物と話せたりする



←Z注目からの横っ飛びは基本アクションのひとつ。敵の攻撃を避け、すかさず反撃！

↓トアル牧場で飼われている山羊。時々逃げ出すから、角をがっちり掴んで捕まえよう









ミドナ

⬅➡トワイライトの領域でリンクの前に現れる、影の魔物。ある物を探すことを条件に、リンクに力を貸すが、一体何をしようとしているのか

ゼルダ姫

⬅ハイラルの王女。ザントに王国を乗っ取られ、民の命と引き換えにハイラル城に幽閉されている。物語の終盤では、ガノンに取りつかれリンクに襲いかかる



ボウ

←トアル村の村長で、イリアの父。相撲が得意など豪快だが、愛娘には頭が上がらないという一面も



イリア

➡リンクの幼なじみで、トアル村村長・ボウの一人娘。ブルブリンたちに連れ去られた後、一時記憶を失くしてしまう



コリン

➡トアル村に住む、モイの子ども。強く優しいリンクを慕っており、手作りの釣りざおをプレゼントしてくれた



モイ

←トアル村唯一の剣の使い手で、リンクの剣術の師匠。後にレジスタンスにも加わり活動する。長〜く飛ぶことのできる金色のコッコを飼っている



ベス

←トアル村の雑貨屋の子ども。都会と大人なリンクにあこがれる、ちょっとおませな女の子



マロ



タロ

←→わんぱくでイタズラ好きなタロと、冷静で鋭い発言をするマロの兄弟。物語を進めると、マロマートという雑貨屋を営むようになる



バーンズ

→カカリコ村でボム工房を営む職人。爆弾を作る腕は確かだが、小心者。店内は火気厳禁。カンテラの使用はNGだ



ルダ

←→カカリコ村の牧師とその娘。ボウの旧知の友人で、記憶を失くしたイリアや、子どもたちをかくまい、面倒を見てくれる



レナード

ゴロン族

↓デスマウンテンに住む、温厚で誇り高き種族。温泉が好きだゴロ



↑長老の一人、ドン・コローネ。今は族長の代わりにゴロン族を束ねている。相撲に勝てばリンクを認めてくれる





↑ゴロン族の族長・ダルボス。見た目は怖いが、義理人情にあつく、正義感にあふれる

賢者



→世界のどこかにある鏡の間で、陰りの鏡を守る5人の賢者たち

大妖精



↑大妖精の洞窟に現れ、各地の精霊の泉に妖精を出現させてくれる

ゾーラ族

←→ゾーラの里に住む、水をつかさどる種族。今は女王・ルテラが亡きキング・ゾーラに代わって一族を統べている







→ゾーラ族の王子・ラルス。母の死に大きなショックを受けるが立ち直り、ゾーラの長となる。ニオイマスを捕るのが上手い



ドサンコフ

←→雪山の廃墟に住む獣人の夫婦。ドサンコフの作るスープは新しい素材を渡すたびにおいしくなり、ビンに詰めて持ち歩ける



マトーニャ



ラフレル

←レジスタンスの一員。昔、ゼルダ姫の教育係として王家に仕えていた

アッシュ

➡騎士団だった父親から厳しく兵法をたたきこまれた、男勝りなレジスタンスの紅一点





シャッド

←ハイラルの古代文明や天空都市を研究する学者。レジスタンスとともに活動している



テルマ

←城下町の酒場の女店主。じつは酒場はレジスタンスの拠点になっている。飼い猫の名はルイーズ

アゲハ

➡自称・虫さん王国のプリンセス。金色の虫を渡すとリンクのサイフを大きくしてくれたりする





ヘナ



リズ

⬅➡ゾーラ川下りの貸しボート屋を営むアフロな姉・リズと、釣り堀屋のオーナー・妹のヘナ。ヘナのガイド付きでルアー釣りをすれば、大物ゲットまちがいなし!?



ポストマン

➡どんな場所でも必ず郵便を届けてくれる青年



セレブショップ店員

⬅城下町にある、セレブ御用達の高級雑貨屋の店員。お金持ち以外の客は、かなり適当にあしらう



ラッカ



トビー

⬅➡ハイリア湖の観光客を相手に「ワクワク水上遊園」を営む。元はサーカス一座のメンバーだった

モンスターたち

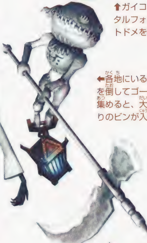


←ザントが影の世界から送り込んだ、ハイラルの光を奪う黒ずくめの魔物・影の使者



↑ガイコツ剣士・スタルフォス。爆弾でトドメを刺そう





←各地にいるポウフィーを倒してゴーストの魂を集めると、大妖精の雫入りのビンが入手できる



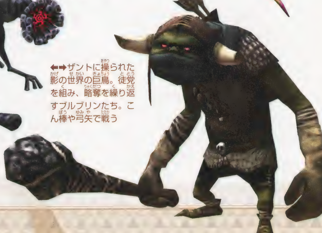
←フィローネの森のボス猿・ウーク。センスを研ぎ澄ませないと姿の見えない幽霊・ボウ





←→ザントに操られた影の世界の巨鳥。徒党を組み、略奪を繰り返すブルブリンたち。こん棒や弓矢で戦う









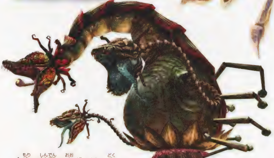


➡⬇光の雫に魔が取りつき虫と化した、影の虫。その実体は獣状態でセンスを研ぎ澄まさないと見えない。すべて倒せば、光の精霊が力を取り戻し、そのエリアに光が戻る



⬅迷いの森に多数現れるパペット。スタルキッドのラッパで操られている

ババラント



⬆森の神殿の大ボスは、毒を持つ巨大な寄生植物。ウークと協力して倒そう

マグドフレイモス

➡ゴロン鉱山の大ボス。ゴロン族長・ダルボスが怪物になった姿。額の目が弱点



ダンゴロス

⬇ゴロン鉱山で、ゴロン一族の宝"勇者の弓"を守る番人。高速で突進してくる





オクタイール

➡湖底の神殿の大ボス。リンクには不利な水中での戦いで、すばやく移動して攻撃を仕掛けてきた



デグトート

⬆巨大な体でジャンプし潰してくる怪物蛙

巨大蟲



⬆ハイリア湖に現れた、巨大な影の虫。ビリビリと放電しながら攻撃してくる

キング・ブルブリン

↘ブルブリンたちの親玉。キングブルボーを乗りまわして悪事を働く



⬇迷宮の奥深くに封印されていた邪悪な妖刀



ゴベラの剣



スタルキッド

⬆迷いの森に棲む、いたずら好きのラッパでパペットたちを操る

ハーラ・ジガント



➡砂漠の処刑場の大ボス。化石と化した太古の巨大獣で、蟻地獄の底で獲物を待ち構える

フリザーニャ



➡極寒の氷塊は、雪山の廃墟の大ボス。マトーニャが邪悪な力で変貌した姿だ

ハンマーナック



⬅巨大なチェーンハンマーを軽々と振り回す豪腕の鎧騎士。懐に飛び込んで尻尾を斬れ！

タートナック



➡シリーズおなじみの剣士。大剣と重厚な防御はWiiでも健在だった

シェルドゴーマ



⬆時の神殿の最深部に巣喰うクモの大ボス。背中の巨大な目が弱点

ガーナイル



⬅背中に大きな翼を持つ竜の騎士。空中を飛びまわり、急降下して攻撃してくる

ナルドブレア



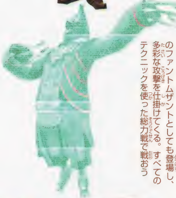
⬆天空都市に現れ、破壊の限りを尽くす大ボス。巨大な翼で暴風を巻き起こし、灼熱のブレスですべてを焼き払う



➡すべての元凶は、やはりこいつだった。最後のボスとしてリンクの前に立ちはだかる、大魔王ガノンドロフ。リンク以上の剣の達人で、多彩な技を繰り出すぞ

ザント





⬅強力な魔力で影を支配する王。幻影のファントムザントとしても登場し、多彩な攻撃を仕掛けてくる。すべてのテクニックを使った総力戦で戦おう

ガノンドロフ



➡ガノンドロフが魔獣に変身した姿。この状態の時は、突進など巨体を生かした攻撃をしてくる







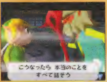


THE LEGEND OF ZELDA

ゼルダの伝説 夢幻の砂時計

ゼルダの伝説　夢幻の砂時計
発売日◎2007年6月23日発売
価格◎4800円(込)
ハード◎ニンテンドーDS

DS初のゼルダ作品。ストーリーは『風のタクト』の数ヶ月後の話で、テトラをはじめとする海賊たちと冒険を続けていたリンクが、幽霊船に遭遇するところから始まる。ジャンルは「ペンアクションアドベンチャー」となっており、移動はもちろん、アクション、謎解きもすべてタッチペンで操作。





ラインバック

⬅お宝を求めて海を巡る船乗り。幽霊船に眠るという財宝を探している。イヤッハーー!!

シエラ

➡倒れていたリンクを助けた妖精。記憶を失っていたが、じつは…

リンク

➡主人公。『風のタクト』後も海賊たちと冒険中。テトラを再び助けるため、幽霊船を探す旅に出る



⬆タッチペンを使った機能の1つとして、画面のマップに自由にメモを書き込めた。さりげないヒントをメモっておいたら後で役立ったりして便利！



⬆偉そうなラインバックだけど、じつはかなりの小心者。危ないことはリンクに任せてオイシイとこは頂き！



⬅ラインバック号で大海原を進むリンクたち。船はパーツを取り替えてカスタマイズすることも可能。パーツは、すれ違い通信を使ってほかのプレイヤーと交換することもできるのだ



テトラ

←海賊のお頭を務める、勝ち気な女の子。じつはハイラルの王女・ゼルダ姫。幽霊船に乗り込んだまま消えてしまって…



ファントム

↑ダンジョンを守る敵。倒せず、聖域に隠れてやり過ごすしかない。対戦ゲームにも登場した



シーワン

←リンクたちを手助けしてくれる、ナゾの老人。その正体は、なんと…



ユキワロシ族



ゴロン族

↑←ゴロン島に住むゴロン族は、今作でも認めてもらうのにひと苦労。氷の島に住むユキワロシ族は、同じ島に住むユキザルと仲が悪い

THE LEGEND OF ZELDA ゼルダの伝説 大地の汽笛

ゼルダの伝説　大地の汽笛
発売日◎2009年12月23日発売予定
価格◎4800円(込)
ハード◎ニンテンドーDS

ニンテンドーDSで発売される、ゼルダシリーズ最新作。『夢幻の砂時計』の100年後の世界が舞台で、今度は大地を走る汽車が重要なカギ。さらにゼルダ姫やファントムといっしょに冒険することも！　力を合わせて謎を解く仕掛けが多数用意されているのだ。機関士姿のリンクにも注目。





リンク

⬆主人公。モヨリ村で暮らす平凡な少年で、機関士になり、大陸中を汽車で巡るのが夢





➡⬇新アイテム"大地の笛"と、楽器を手にした賢者たちの関係は!?　また、新アイテムのムチは、先端がガブリと噛みつく仕様だ





⬆定番アイテムのブーメランも登場。タッチペンで画面に軌道を描いて投げるのだ

➡新アイテム「疾風のプロペラ」。DSのマイクに向かってフーッと吹くと風が起こる





ゼルダ姫



⬅ハイラル城で暮らすお姫様。リンクに頼みこっそり城を抜け出すが、魔物に襲われ魂だけになってしまう

ファントム



↑神の塔を守るファントムに魔物の魂が入り込み、リンクたちの行く手を阻む。しかし、魂になったゼルダ姫が乗り移ると頼れる仲間になる

↓対戦モードでは、最大4人のリンクたちに分かれて戦う。このモードでは、ファントムは全力でリンクたちを追う敵になるぞ





シロクニ

⬅見習い機関士であるリンクの師匠。かつては城の兵士で、ゼルダ姫とも面識があるのだ



ディーゴ

➡魔族を乗せた列車に乗り、リンクたちを襲った謎の男



キマロキ大臣

⬅ハイラル王国の大臣。ゼルダ姫に城からの外出を禁じた張本人。なぜ?



ニコ

⬅リンクと一緒に暮らす老人。お手製の紙芝居を披露するのが趣味。部屋には若かりしころの肖像画が…ってあの人!?



バルブ

⬅物語の鍵を握る、祠の賢者の一人。賢者はそれぞれ演奏する楽器が異なる。乗り物(?)はシャリンといっしょ!?





←⬇魔族を乗せリンクたちを襲った謎の列車と、すごい速さでリンクの汽車を追いかけ体当たりしてくるボンバー列車。ほかにもいろんな列車が!?



テツオ

←線路脇でカメラを構える鉄道ファン





シャリン

⬇神の塔を訪れたリンクに、神の汽車を授ける。この髪型、どこかで見た!?

イワントス

➡ボス・イワントスと戦うリンクの勇姿！ 矢で狙うのは、やっぱりあの大きな目玉？





←大きなこん棒を振りかざし、リンクに襲いかかるモンスターたち。今度のリンクはどんな剣技を覚えるのかな？

伝説は終わらない・・・

2009年のE3で発表された、次回作の『ゼルダ』イラストがコレだ！



THE LEGEND OF ZELDA
ゼルダの伝説 4つの剣+

THE LEGEND OF ZELDA
ゼルダの伝説
神々のトライフォース&4つの剣

THE HYRULE FANTASY
ゼルダの伝説

THE LEGEND OF ZELDA
Twilight Princess

THE LEGEND OF ZELDA
ゼルダの伝説
ふしぎのぼうし

THE LEGEND OF ZELDA
ゼルダの伝説
ふしぎの木の実 時空の章

THE LEGEND OF ZELDA
ゼルダの伝説
ふしぎの木の実 大地の章

THE LEGEND OF ZELDA
ゼルダの伝説 大地の汽笛

THE LEGEND OF ZELDA
ゼルダの伝説 風のタクト

SUPER FAMICOM
ゼルダの伝説
神々のトライフォース

THE LEGEND OF ZELDA
ゼルダの伝説
ムジュラの仮面

THE LEGEND OF ZELDA
ゼルダの伝説 夢幻の砂時計

GAME BOY
ゼルダの伝説
夢をみる島DX

THE LEGEND OF ZELDA 2
リンクの冒険

THE LEGEND OF ZELDA
ゼルダの伝説 時のオカリナ

THE HISTORY OF ZELDA アートコレクション

ニンテンドードリーム2月号別冊付録

マイコミ

平成22年2月1日発行（毎月1回1日発行）第15巻第2号（通巻190号）

Scanned by Melora for History of Hyrule

historyofhyrule.com
melorasworld@gmail.com

Hey everyone! I'd personally be really happy to see you make scanlations or take portions of this and make fun things and posts with it. The only things I ask are:

1. Try to link back to **historyofhyrule.com**, somewhere, somehow, for credit. This is so people can find more info and other works, reach me if they have questions, or want to contribute other content. It's actually how I've found out about so many of these things and been able to get them to you in turn.

2: Please don't just re-upload the whole set somewhere else. This is in case it's re-released officially so I, and my site, don't come into conflict with any publishers or artists for making scans. (Or, if you do use the whole set, because you've made scanlations, just don't use them commercially and take the full set of my scanned images down if you ever hear about a re-release.) In the 20 years I've been doing this I have never once left scans up if something comes back into print again. I only do the scanning work I do because, as an enthusiast, I don't want something that is actually out of print and rare to be lost forever.

Thank you for understanding!
-Melora